

東北大学大学院教育学研究科

震災子ども支援室“S-チル”

“S-チル”3つの理念

東北大学では、東日本大震災で親を亡くされた子ども達、大切な人や物をなくされた子ども達の成長の道のりを、長期的に支援していきます。

ニーズに基づく支援

自治体や関連機関・団体との連携を図り、支援ニーズを探っていきます。

保護者への支援

1人親、あるいは里親になられた保護者の支援を行います。

子どもたちへの支援

10年間にわたって専門家が継続的に担当し、丁寧にゆっくりと子どもたちの心のケアを行います。



お子さんご自身の相談相手

- 学校のこと ● お友達のこと
- 進路のこと ● 家族のこと など



保護者の個別相談

- 子育て相談 ● お子さんの発達に関する相談
- 保護者ご自身のことに関する相談
- 家族関係に関する相談 など



保護者の方々が集まって 会話のできる子育てサロン



お子さんに関わっている方々 に向けた研修

- 保護者 ● ご家族 ● 保育士
- 教職員 ● 施設職員 ● 里親 など



必要な 支援サービスの紹介 情報の提供

- 相談員が訪問することもできます。

お問い合わせ

相談料・通話料無料 〈家の電話、公衆電話、携帯電話からもかけられます。〉



みんなむつまじい
0120-37-6241

【受付時間】月曜～金曜
午前9時～午後5時



<http://www.sed.tohoku.ac.jp/~s-children/>

● S-チルのSとは…3月の震災後の相談のSから始まり、子どもたちの健やかな成長と幸せを支えることを目指すS、チルはチルドレンです。